

楓 通 信



奥日光を愛する皆様に
旬な情報を伝えたい

奥日光に訪問されたお客様の声

お知らせ

1901 年に、祖父が奥日光に訪問しました。私もこの地に来て良かったと思います。 米国人男性

温泉街に咲くクリンソウは素敵です。千手ヶ浜同様、ここも良いスポットですね。 日本人男性

彼女と入れる混浴温泉はありませんか？ フランス人男性
*この場合、貸切風呂をご案内します。

奥日光の風景は箱根と似ているが、中禅寺湖も火山湖か？ カナダ人男性

*芦ノ湖はカルデラ湖(火口原湖)ですが、中禅寺湖は男体山の溶岩による堰止湖です。

刈込湖は綺麗でした。湖の深さはどの位ですか？ 日本人女性
*水深約 15m 程です。

アルプス山麓のように緑が美しいキャンプ場は快適で楽しかった。温泉も風景も良く、また来たいです。 日本人女性

奥日光は自然豊かなクマ(ツキノワグマ)の生息地です



奥日光では、毎年多数の目撃報告があります。活動時期には、いつでも全域的に遭遇する可能性があります。外に出る際には、クマに出会わないための工夫をしましょう。

危険を避けるために(概略)

- ・クマ鈴を付け、人の存在を知らせる。
- ・朝夕の散策、単独行動を避ける。
- ・誘引源となるので、ゴミを捨てない、埋めない。
- ・もし遭遇したら静かに後退し、その場を離れる。
- ・母グマは仔を守るために特に攻撃的で危険なので、絶対に近寄らない。
- ・万一襲われたら、伏せて体を丸め、両腕で首や頭を守る。

森のギャラリー

入場無料！ 自然写真展

恒例となったお二人の写真展。奥日光に何度も通い、ほんの一瞬の自然の美しさを捉えた写真の数々が、無料でご覧いただけます。お二人の表現の違いもお楽しみください。

横澤 幸一 さん

撮影場所 奥日光
展示期間 7 月 31 日～8 月 14 日

荒武 宏司 さん

撮影場所 鬼怒沼、奥日光
展示期間 8 月 15 日～9 月 4 日

◆森のギャラリーとは
ビジターセンターに隣接する、飲食可能な休憩所です。
また、どなたさまも無料で展覧会等にご利用いただけます。ご予約は当センターまで。
TEL 0288-62-2461

当センター開館日時

8 月 8:30～17:30 (無休)
9 月 9:00～16:30 (無休)

登山情報について

夏山シーズンを迎え、白根山の状況など問合せも増加傾向です。センターでも、登山道の危険情報がない限り、一般的な案内をしています。地図やガイドブックなどで基礎知識を深めて、自己責任で楽しみましょう。

【表紙の話】

夏の高地にあって、華麗な姿で舞を披露するクジャクチョウ。タテハチョウの仲間、*「geisha」*と命名されている。幼虫は、イラクサやハルニレの葉等を食草としています。

編集後記

4 月頃から「ズミ」の開花時期の問い合わせ電話が続いた。気象専門家の「桜の開花」予報さえ難しいのに、6 月頃咲くであろう「ズミ」の開花日を予想するのは至難の技だ。中には、遠くから来て宿泊をするので、絶対に咲いていなければ困るという切実な問い合わせもあった。無難な 6 月 1 日をお奨めしたお客様の一人が私に会いに来館されて、感謝の言葉を述べられた時はやはり嬉しかった。自然情報を知りたくて、今日もビジターセンターの電話が鳴る。(M・K)

楓通信 No.124

日光湯元ビジターセンター発
-奥日光の自然情報誌-

2016 年 8 月 1 日発行
次号 10 月初旬 発行予定

隔月発行 一部 100 円
年間購読料 1,000 円(送料込)

年間購読のお申込み

氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。年途中からでもどうぞ！
ゆうちょ銀行 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人自然公園財団日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

クジャクチョウ

奥日光 歳時記

5月下旬-7月中旬

美しき花の季節を迎えた6月初旬に突然寒波が襲った。白く咲くはずのズミの花は灰色にくすんで終わり、芽吹いたばかりのミズナラの新芽も痛手を受けたようで、クマの餌となるドングリの凶作が心配である。この夏の水不足も懸念される中、もし空梅雨で終われば深刻な水飢饉となりそうで、今後の天気変化に要注目です。



2016.6.12 湯元温泉街で鮮やかに咲くレンゲツツジ



2016.6.18 湯元温泉街のクリンソウ



2016.5.24 渇水状態の西ノ湖。周囲の新緑とズミの白い花が映える初夏の風景



2016.7.11 白根山で満開のハクサンシャクナゲ



2016.6.26 湯ノ湖周辺で見つけたショウキラン



2016.6.4 ワタスゲの穂きらめく朝の戦場ヶ原と男体山

8-9月に咲く主な花など



オオウバユリ
草丈は 1m を越えるユリ科の多年草で、緑白色の大きく目立つ花を咲かせます。



ワレモコウ
秋風に揺れる紅色の花穂が風情な、バラ科の多年草で、名前の由来は「我も紅」という主張とか。



アキノキリンソウ
キク科の多年草で、草丈 80cm 程あります。秋に咲くことと、キリンソウに花が似ているので名付けられました。



アケボノソウ
湿原で見られるリンドウ科の二年草。名前は、夜明けの星を思わせる白い花びらの模様から名づけられました。



ウメバチソウ
湿原に咲くニシキギ科の多年草。白い 5 枚の花びらの形が「梅鉢」の紋所に似ているのが名前の由来です。



シロヨメナ
キク科の多年草で、草丈 1m 程です。鹿が好まない草のため、初秋の頃、千手ヶ浜で白花の群落が見られます。



トモエシオガマ
ハマウツボ科の多年草で、草丈 25～50cm 程で草地や亜高山に生えるトモエの形をしたピンクの花です。



エゾリンドウ
亜高山帯の湿地に生える多年草で、80cm 程の草丈になります。上部だけでなく、何段にも花がつけます。



初秋の風物詩…小田代原の草紅葉

小田代原は、ミズナラやズミ・カラマツに囲まれた湿原で、夏にはたくさんの花が咲き始めますが、秋に見られる草紅葉の景観も素晴らしい場所です。気温が下がり始める 9 月上旬頃、ホザキシモツケやエゾヌカバ、トダシバなどの湿原植物が、赤や黄色等に色づき始めると、植生場所に依じてパッチワークやモザイクのような色合の紅葉が出現し、9 月下旬頃には美しい絨毯模様となり、訪問者の目を楽しませてくれます。

湿原である小田代原は、周辺と比較して気温が低く、昼夜の温度変化も大きくなる特有の気象現象のため、周囲の山林と比べて紅葉が早く進むようです。さらに秋が深まると、湿原を取り囲むカラマツが黄金色に輝き、神々しくも壮大な景色を展開することでしょう。

8-9月にみられる昆虫



ウラギンヒョウモン
高原でよく見かけるタテハチョウの仲間、他のヒョウモンとは、白色斑が大きく目立つので、区別することが容易です。



ヒメシジミ
姿が、シジミ貝に似たシジミチョウの中で、サイズは小振り。栃木県でも、生息数の減少が心配されています。



ミヤマクワガタ
冷涼で、豊かな自然環境を好む奥日光で人気の昆虫です。重厚な姿は特徴的で、高地では、気温の高い屋間に活動する場合があります。

菌類

チチタケ
赤茶色の傘から、白い乳のような液が出るのが名前の由来です。栃木県では食用として人気があり、チチタケそば・うどんが有名です。

冬虫夏草
冬は土の中で虫の姿(冬虫)、夏には発芽して草の姿(夏草)になる不思議な菌類で、セミやトンボ・ガ等に寄生します。詳しい生態は未だ謎のままです。

■日光連山では頭の上で雷雲が発生する

宇都宮など平野部の雷雨は、日光連山などで発生した雷雲が移動してくるものです。北西の空が黒くなり急に冷たい風が吹いて、ゴロゴロと雷鳴が近づき、間もなく雷雨が来るということが分かります。

しかし、雷雲発生場所である日光では、そのような余裕はありません。図 1 は、2015 年 8 月 5 日、日光連山で発生した雷雲の様子です。13 時 30 分に奥日光に現れた弱い降水域は、10 分後の 13 時 40 分には 1 時間 40 ミリ以上の強い降水域に発達しました。しかし、その後は徐々に衰退しています。

一方、霧降高原に 13 時 40 分に発生した小さな雨雲は、13 時 50 分に 40 ミリ以上の、14 時 20 分には 80 ミリ以上の非常に強い降水域までに発達しました。この間僅か 40 分しか要していません。筆者はこの時霧降高原レストハウスに勤務していましたが、13 時 45 分頃から激しい雷雨となり、14 時以降には至近距離に数回の落雷がありました。

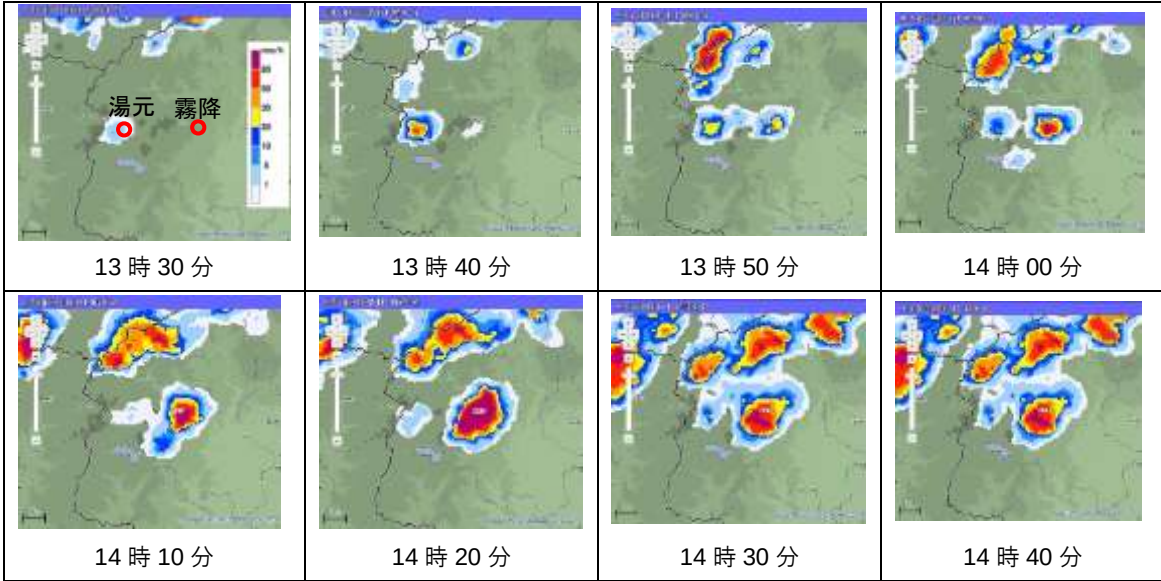


図 1 2015 年 8 月 5 日の雷雲発達の推移その1(気象庁高解像度降水ナウキャスト)

さて、14 時以降にはすっかり雷雲が衰えた奥日光ですが、15 時 10 分には再び強い降水域が現れています(図 2)。そして僅か 10 分後の 15 時 20 分には、奥日光全域が 80 ミリ以上の非常に激しい降水域に包まれてしまいました。このように、霧降高原、奥日光ともに、この日は雨雲が発生してから僅か 10 分から 30 分後には激しい雨を降らせる雷雲にまで急発達しています。

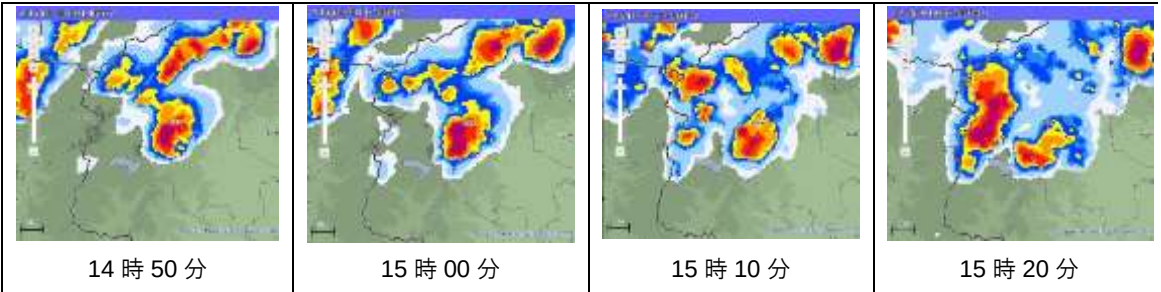


図 2 2015 年 8 月 5 日の雷雲発達の推移その2

雷雲は激しい上昇気流により発生しますが、上昇気流は毎秒 20m 程度になることもあります。雷雲の頂の高さは 10000m ぐらいですので、標高 1500m の奥日光から 10000m の高さまで上昇するのに、わずか数分しかかかりません。天気予報で雷が予想されているときは、ハイキングは午前中に終わらせるのが賢明でしょう。

■奥日光の気象情報

2015 年 平均気温・湯元

	8 月	9 月
最高気温	21.7℃	14.1℃
最低気温	15.7℃	11.2℃

※自然公園財団日光支部の記録より

2016 年 日の出日の入(宇都宮)

	8/1	9/1
日の出	4:46	5:12
日の入	18:47	18:09

※国立天文台ホームページより

2016 年 天文情報

	8 月	9 月
新月	3 日	1 日
満月	18 日	17 日

8/12 ペルセウス座流星群が極大

※国立天文台ホームページより

絵葉書に描かれた 幻の奥日光花風景

古い天然色絵はがきに描かれた奥日光の山々に咲く花。

そこには、今は見ることの珍しい花が咲き誇り、^{せきじつ}昔日の人々が見たであろう美しくも夢のような山の風景があった。



今は廃道の金田峠に咲くユリ科のトウギボシとミズギボウシ。ナデシコ科のビランジの可憐な花が咲く。



太郎山を望む戦場ヶ原に咲くラン科のクマガイソウ。この美しい風景にため息が出そうだ。



戦場ヶ原に咲いていたと思われるクリソウの絵ですが、明治時代には湯滝での報告例があります。



8 枚入り絵葉書の封筒



絵葉書の通信面
星野屋商店発行と記載あり

これらの美しい花のほとんどが、いつの頃からかこの奥日光から消えてしまった。そして今も心配な状況が続いている。

夏山に彩を添えてくれた花
達が今も健在で、人知れぬ山
のどこかで、密かに咲いている
ことを願わずにはいられない。



五色沼と奥白根を背景に咲くユリ科のエゾスカシユリ。場所は前白根山辺りと思われるが、今では信じられない風景のひとつです。



アツモリソウと湯元温泉。場所は金精峠周辺と思われます。



阿世瀨峠に咲くセキチクソウ。背景は中禪寺湖。



山深い白根山に咲くラン科のコアツモリソウとサクラソウ。



明智平から見る華厳滝と中禅寺湖。ユリ科のスズランが清楚だ。

日光白根山

標高 2577.6m
関東地方以北に聳える山々の最高峰

活火山の歴史

日光白根山は、栃木・群馬両県にまたがって聳える成層火山で、山頂部分となる「奥白根山」は、火山岩（デイサイト）からなる溶岩山頂丘（溶岩ドーム）を形成しています。

手前の「前白根山」や「五色山」は、新生代の新第三紀（258 万年前）頃の古い成層火山であり、そこに噴出した「奥白根山」は、現在も活動を続ける活火山であります。周辺の「丸沼」や「菅沼」は、流れ出た溶岩が河川を堰き止めた湖沼で、コバルトブルーに輝く「五色沼」は、火山湖とも堰止湖ともいわれています。

火山活動による堆積物を残す噴火が、約 6,000 年前以降少なくとも 6 回以上あったといわれ、新しい堆積物は、1649 年当時の物と推定されています。最後の噴火が 1889 年（明治 22 年）冬にあって以来、多少の噴煙や鳴動を観測されておりますが、平成 28 年 5 月現在、山頂部に噴気地域は現存せず、火山性微動も観測されておられません。しかし、過去 100 年程度、火山活動の高まりが認められている山として、気象庁の常時観測火山の一つであります。

高山植物の名山

氷河時代に生育していた植物が、気候の温暖化にともなって、寒冷な高山へ逃れた氷河遺存種が日本の高山植物です。シラネの名のつく植物は、「シラネアオイ」、「シラネニンジン」、「シラネザクラ」、「シラネアザミ」等あり、白根山は、日光を代表する花の名山ですが、近年、鹿の食害で激減傾向なのが残念です。「シラネアオイ（白根葵）」は、通常、キンポウゲ科に分類されるシラネアオイ属の多年草であり、1 属 1 種の日本固有種です。名前は、花が「タチアオイ」に似ることから名付けられたようで、他に「山芙蓉」とも呼ばれる雅やかな花です。



登山ルート

白根山と呼ばれる山は幾つかあり、「草津白根山」や南アルプスの「白根三山」が有名です。周囲の山々よりも白くて高貴な姿から名付けられたのでしょう。中禅寺湖南岸から遠望する雪の白根山の姿から、異国であるスイスの湖から見るアルプスの山々を彷彿とさせます。

登山者には、ロープウェイのある群馬県丸沼高原側に人気がありますが、湯元温泉から登る標高差約 1,000m の長い山道も、喧騒を逃れて歩く、味わい深いルートだと思います。

登山ルートの概要

栃木県側

【金精峠コース】金精トンネル手前から標高 2,024m の金精峠・金精山、五色山と縦走する展望の良いコースです。

【白根沢コース】湯元キャンプ場から急勾配の道を外山の鞍部まで登り、前白根山に至る登山経験者向きコースです。

【中曽根コース】湯元温泉の「もみの木通り」から、国境平に突き上げる急で笹が深い山道で、登山経験者向きです。

群馬県側

【菅沼コース】標高 1,735m の登山口からオオシラビソの樹林帯を登り、弥陀ヶ池経由で、急峻な斜面の溶岩ドームの頂へ登ります。

【丸沼高原コース】標高 2,000m のロープウェイ山頂駅から登頂する最短コース。最後の山頂に至るガレと岩場に注意したい。



こんにちは！ 私たちは奥日光シカ管理専門員です

奥日光シカ管理専門員とは

戦場ヶ原周辺にはシカ侵入防止柵があります。これはニホンジカ *Cervus nippon* から湿原の植生を守るために、今から 15 年前に環境省が設置しました。この柵は全長 17km もあります。湯滝周辺で多少ご覧になれますが、柵のほとんどは景観に配慮して、目に付かない山中を巡っています。柵はニホンジカ以外の動物には通過できるように設計してあります。例えば、使用しているステンレスワイヤー入りネットは、15cm の網目でかつ柔らかい素材のため、アカギツネ *Vulpes vulpes* やニホンアナグマ *Meles anakuma* などの中型哺乳類は難く通ることができます。一方で、柔らかい素材を使っているために、ネットを動物に切られてしまうことがあります。あるいは枯れた木が倒れたり、土砂が流れてきたりして、柵を壊してしまうこともあります。

そのため私たちは入林許可を得た上で、毎日毎日、道なきところを柵に沿って巡視をしています。時にはアオダイショウの脱皮に立会い、木から落ちるニホンザル *Macaca fuscata* を横目で見ながら、私たちの巡視は行われます。春は雪を越えて、そして今は笹藪を漕いで。静けさの中で鳥のような視点から観る、壮大な小田代原の眺望や、崖の上で風に吹かれながら仰ぐ、青く輝く中禅寺湖。特別な許可を得て、業務として従事しているがゆえに眺めることができる特別な風景。本職に就いてよかったと思う瞬間です。



ニホンジカの生息密度調査

私たちはシカ侵入防止柵のメンテナンスだけでなく、ニホンジカの生息密度調査も実施しています。いくつかの調査を行っていますが、その中でも「ライトセンサス」という調査を毎月 2 回、真夜中に実施しています。動物の眼底が光を反射するという特性を利用して、車の窓からサーチライトを森に照射し、光る 2 つの眼を探します。夜のニホンジカたちは、人を警戒する事なく道を横切り、そして草を食べています。今の季節は親仔のニホンジカを見かけます。生まれて何ヶ月も経っていない、華奢な仔ジカが母ジカの近くで、息を潜めているのが見られます。私たちは約 4 時間かけて、真っ暗な戦場ヶ原、小田代、千手ヶ浜、光徳牧場など、縦横に車でゆっくりと回ります。そしてニホンジカの頭数を数え、季節ごとにどの地域に多く観られたのかを調べています。

これらの調査結果は、ビジターセンター内に展示しております。この展示には 10 年前の調査結果も見ることができます。是非、最近の結果と比較してご覧になってください。



森の相談コーナー開設

私たち奥日光シカ専門員は、ビジターセンターのカウンターに座っていることはありません。通常は森の中で仕事をしています。そのため、なかなか皆さんとの交流を持つ機会がありません。

しかし、野生動物が大好きで今の仕事をしているメンバーですので、色々なことを勉強したり、研究したりしています。まだまだ勉強は足りませんが、皆さんと森の情報のキャッチボールをしたいと思っています。そこで、ビジターセンター入口近くに、「森の相談コーナー」を開設しました。皆さんが森の中で何か気がついたり、疑問に思ったりしたことがありましたら、投げかけてみてください。私たちは可能な限り考え、調査し、答えを探してみるつもりです。一緒に森を楽しみましょう。

日光湯元ビジターセンター イベント情報

「山の日」記念登山等、この夏から秋にかけての楽しいイベント情報が目白押し！

山の日
記念企画

白根山登山

申込受付中

「山の日」制定記念に関東最高峰にチャレンジ！
ロープウェイ山頂駅（標高 2,000m）からスタート
する最短コースで山頂へアタックします。

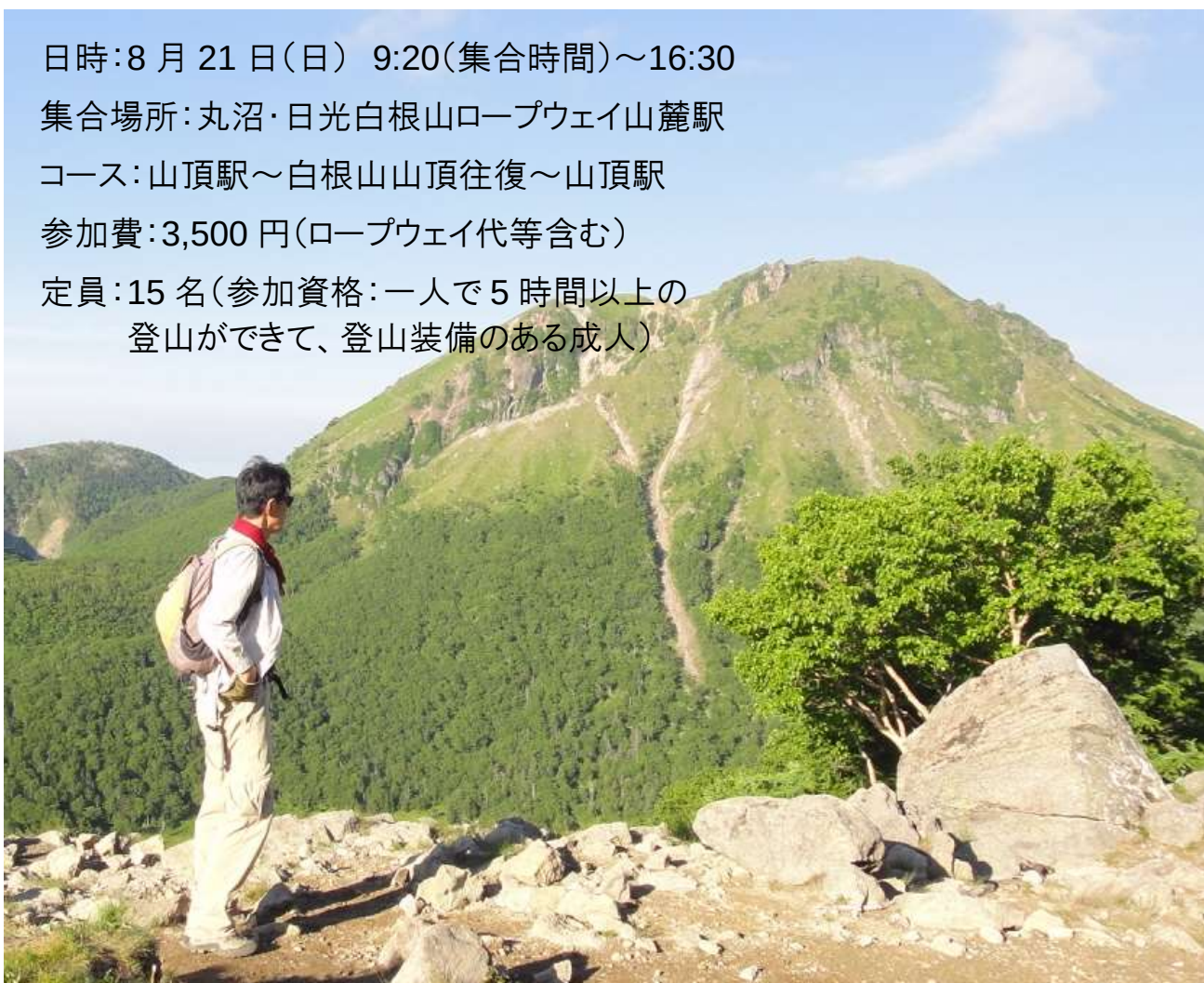
日時：8 月 21 日（日） 9:20（集合時間）～16:30

集合場所：丸沼・日光白根山ロープウェイ山麓駅

コース：山頂駅～白根山山頂往復～山頂駅

参加費：3,500 円（ロープウェイ代等含む）

定員：15 名（参加資格：一人で 5 時間以上の
登山ができて、登山装備のある成人）



イベントのお問合せ・お申込み

電話・FAX にて次の事項を下記までお知らせください。

①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号（当日連絡のつくもの）
⑦集合先までの交通手段⑧この催しの情報源⑨前・後泊の有無⑩レンタルの有無

環境省 日光湯元ビジターセンター（一般財団法人 自然公園財団日光支部）
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

- 受付は先着順となります
- 小学生以下保護者同伴
- 持ち物・服装などは、約 1 週間前にハガキでお知らせいたします

山ガール in 高山

申込受付中

高山の頂上から中禅寺湖畔をめぐる女性限定の軽登山です。爽やかな秋のハイキングを楽しみましょう。

日時：10 月 2 日（日） 9:45～16:15

集合場所：日光湯元ビジターセンター

コース：竜頭滝～高山～
中禅寺湖北岸～竜頭滝

参加費：500 円 定員：15 名



クマレクチャー

申込不要

ツキノワグマはとても警戒心の高い動物です。そんなツキノワグマを知ろう。ツキノワグマってどんな大きさでしょう？そして、万が一出会ってしまったとき、どうすればいいのでしょうか？しっかり学んで一緒に考えましょう。

日程：毎週土曜日 7 月 16 日（土）～8 月 27 日（土）
※その他、開催をご希望の場合は 10 名以上で要相談

時間：14:30～15:10（40 分間）

場所：日光湯元ビジターセンター レクチャールーム

参加費：無料

担当：竹田努（シカ管理専門員リーダー・環境学博士）



【画像提供】
環境省日光自然環境事務所
2014.7.18 戦場ヶ原

イベントレポート

Pick up

グリーンハイキング 6/26（日）10:00～15:00

天候に恵まれて、無事故で終えることができました。
八丁出島の先端からの男体山の眺めは最高に綺麗でした。
中禅寺湖遊覧船のお客様と手を振りあい、思いがけない出会いもできました。八丁出島の中は道がないのでお客様の好みでコース取りができ、ちょっとした探検気分にもなれました。

昼食の男体ビーチでの「カワニナ」の発見や八丁出島の「薬師堂跡」の慈覚大師（円仁）の話など、自然と歴史をとりまぜた今回の企画は大成功でした。

今後とも、日光湯元ビジターセンターのイベント情報をご覧いただき、皆様のお越しをお待ちしております。（T.A）

